



学校だより

横浜市立釜利谷中学校
発行日 令和4年3月1日(火)
発行者 学校長 木村 典明
所在地 金沢区釜利谷南 3-5-1
電話 784-7311 FAX 783-9762

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamariya/>

学校教育目標

人との関わりを大切にします。(徳、公)
生きるための学びを大切にします。(知、開)
心と命を大切にします。(体、徳)

知…生きてはたらく知
徳…豊かな心
体…健やかな体
公…公共心と社会参画
開…未来を開く志

「立場を尊重できる人に…」

校長 木村 典明

昔々あるところにおじいさんとおばあさんがいました。おばあさんは川に洗濯に、おじいさんはその下流に魚釣りに行きました。おじいさんが釣り糸を垂らしていると、川上からどんぶらこどんぶらこと大きな桃が流れて来るのが見えました。「おー！あれは、うわさに聞く桃太郎が入った桃にちがいない！」おじいさんは、村を荒らしてみんなに迷惑をかける鬼を退治してもらえろと思ひ、川に入って桃を取ろうとしました。するとどうでしょう。桃の向こうからおばあさんも流れてくるではありませんか。どうやら、その桃を取り損ねたおばあさんが溺れてしまったようです。桃を取ればおばあさんは助けられません。でも、おばあさんを助ければ村人みんなが鬼に苦しめられます。おばあさんは50年連れ添ったかけがえのない人生の伴侶です。でも、村人たちも苦楽を共にしてきた大切な仲間です。桃とおばあさんはどんどん近づいてきます。その時、おじいさんは…。

数日後、おじいさんがとった行動が瓦版に載りました。それを読んだ人たちからおじいさんを責める声が上がりました。「おじいさんの行動は理解できない！」「あまりにひどい！ひどすぎる！」と非難轟々で、家に石を投げつける人がでる始末です。

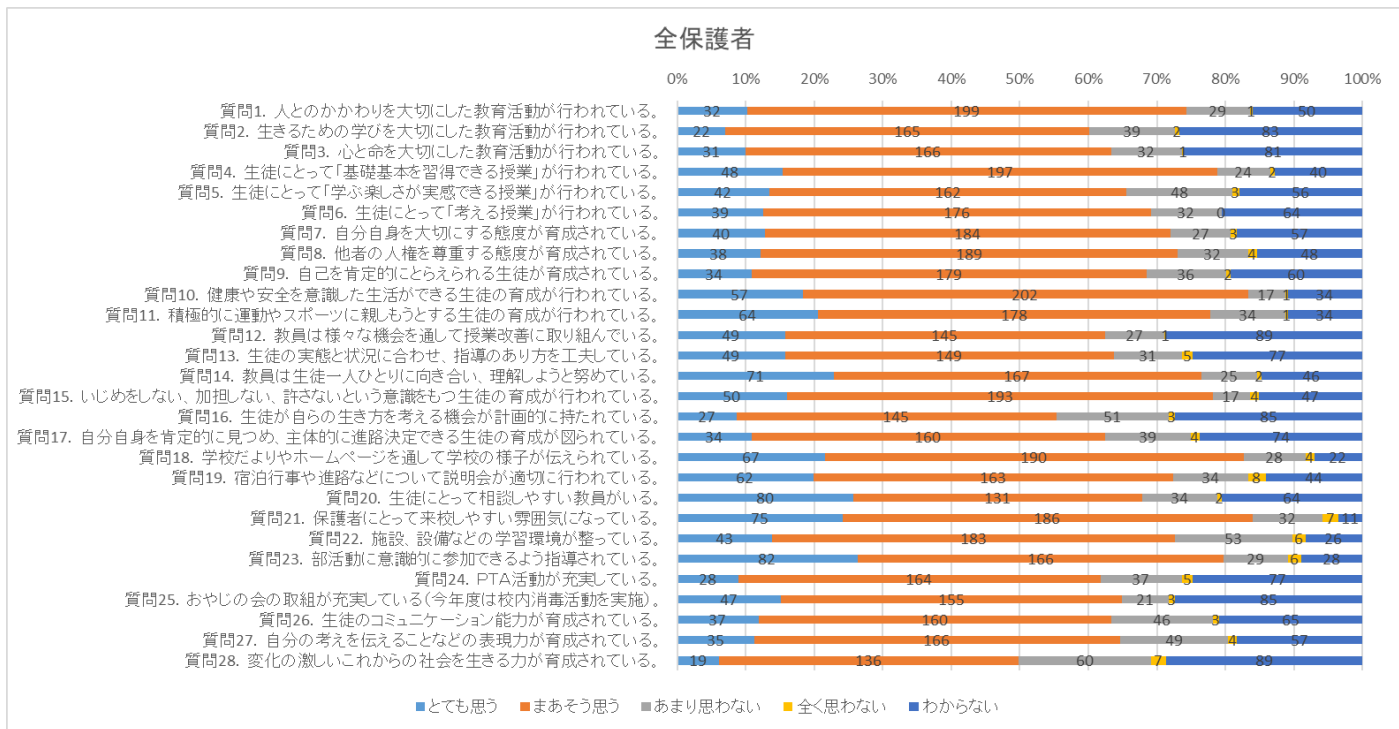
おじいさんは寂しくつぶやくのでした。「わしは間違っていたんかのお…」。

おじいさんが川で苦しい決断を迫られた時のつらい気持ちに寄り添える人が…現れてほしいものです。



コロナ予防対策と経済活動、技術革新と環境保全など、世の中には「二律背反」なことが様々あり、特に子どもたちが社会を担う数年後の未来は、持続可能な社会の実現のために配慮しなければならないことが多岐にわたることが予想されます。あちらを立てればこちらが立たないことを知りつつも、それでも選択はしなければなりません。おじいさんが、おばあさんと桃のどちらを選択したのかは分かりませんが、いずれにしても苦渋の選択だったことに違いはありません。本校の生徒たちには、おじいさんを一方的に非難した人たちのように安易に人を責めるのではなく、幅広いものの見方や想像力を働かせて、色々な役目役割を負った人たちの立場を尊重しようとする人に育ってほしい、と願っています。

◇令和3年度 学校評価アンケート —結果報告です—



<保護者の結果を受けて>

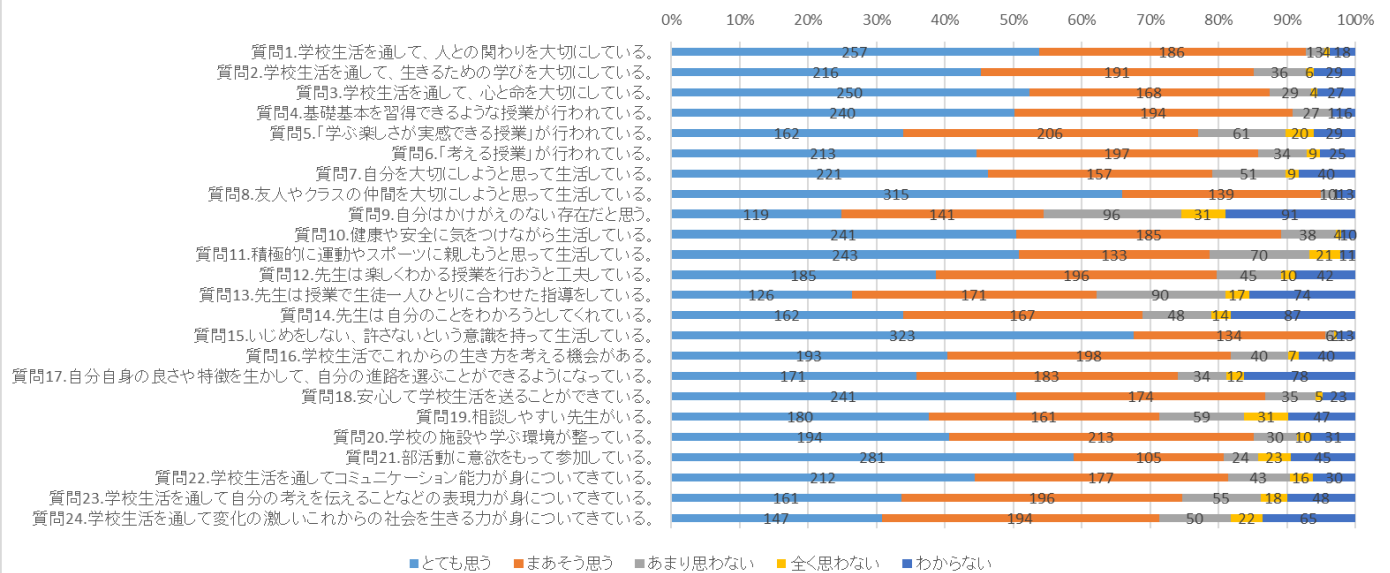
○すべての質問事項において「わからない」を選択している割合が、昨年に引き続き高いのは、コロナ禍で保護者の方に学校へ足を運んでいただく機会を大きく制限せざるを得なかったことが大きな原因と考えられます。今年度は、昨年度の反省を生かし、現状においても開かれた学校を実現していくために情報発信の仕方や会合等の実施形態の工夫など具体的な方策を考え、意識して実践しましたが、今後も説明責任を果たすために引き続き検討を続けてまいります。

○「生きるための学び」「生徒が自らの生き方を考える機会」「これからの社会を生きる力の育成」の項目についての評価が、他の項目に比べて低い傾向がみられます。保護者の方のニーズが「変化の激しいこれからの社会」に対応し、「自らの生き方を考える」力の育成であることを踏まえ、生徒に寄り添った指導を心がけていきます。

○教員の授業に対して「基礎基本の習得」については一定の評価を得ていると考えられます。それと比べると「学ぶ楽しさが実感できる授業」「考える授業」の項目ではあまり評価が高くありません。また、「考える授業」については生徒の評価と比べ評価が低い傾向でした。今年度は、授業参観など直接保護者の方に授業を見ていただく機会が年度初めの一回のみとなってしまいましたが、引き続き教育課程における身につけさせたい資質・能力等を明確にしながら、「教え合い・学び合い」「言語・表現活動」を積極的に取り入れた授業改善をすすめていきます。そして、保護者説明会での説明やコロナ禍での授業参観等で授業を見ていただく機会の設け方を工夫して、授業実践についての理解を得られるようにしていきたいと思ひます。

○「学校だより等の情報発信」や「保護者にとって来校しやすい雰囲気がある」の項目で高い評価を得られています。引き続き、より丁寧な対応と生徒・保護者の心情に寄り添った指導を教員集団として日々継続していきます。一方、「小学校との交流」や「地域行事」等、今年度もコロナ禍の影響で学外との直接的な関わりはほぼ遮断せざるを得ない一年となりました。「PTA活動」「おやじの会」の評価は概ね低評価もしくは「わからない」が多かったため、次年度以降は様々な交流の形を模索していき、これまで培ってきた交流の流れを途切れさせないようにしていきたいと思ひます。

全生徒



<生徒の結果を受けて>

○学校教育目標に準じた質問「人との関わり」「生きるための学び」「心と命」の項目では、肯定的な評価がどの学年でも8割を超えています。あらゆる教育活動を通して、生徒一人ひとりが自己有用感を高め、学校教育目標を実感できるようにしていきたいと思えます。

○授業については、「基礎基本の習得」や「考える授業」が行われていると生徒の多くが評価してくれました。また、「学ぶ楽しさを実感」という項目においても、昨年度より評価が高い傾向が見られます。身につけさせたい資質・能力を明確にしながら、「教え合い・学び合い」「言語・表現活動」を積極的に取り入れた授業改善を、釜利谷中として引き続き実践してまいります。

○生徒の学校生活に対する姿勢として、「友人やクラスの仲間を大切にする」「健康や安全に気をつける」「いじめをしない・許さない」という項目で、どの学年も高い意識をもっていることが伺えます。一方で、「自分はかけがえのない存在」という項目については否定的な評価が目立ち、特に学年が上がるにつれてその傾向が強いです。また、「自分を大切にする」も「他者を大切にする」に比べ、若干低い傾向にあります。コロナ禍の現状では心身ともに不安を抱える生徒が普段よりも多くあることを教職員が強く認識し、自尊感情を高められるような場面を設定するとともに、今後も細かく丁寧に寄り添って、温かみのある指導を実現してまいります。

○「先生は自分のことをわかろうとしてくれる」「相談しやすい先生がいる」の項目では、学年により評価がわかれているが、日ごろの教職員の寄り添う指導は成果をあげていると考えられます。引き続き、学年内で連携をとり、的確な指導を継続して、子どもの健全な成長を図っていけるように取り組んでまいります。

○教育課程全体で育成を目指す資質・能力である「コミュニケーション能力」「表現力」「生きる力」については、日々の学校生活の中で生徒が実感を持てるような取組を実践した成果が現れ、昨年度よりもよい結果となっています。今後も様々な場面で「3つの力」を意識するとともに、振り返り時には力が身についたかどうかなどの自己評価をする場面を意図的につくっていききたいと思えます。

◇人との関わりを大切にします！ —お手紙をいただきました！—

地域の方からとても素敵なお手紙をいただきましたのでご紹介いたします。

突然のおハガキで失礼いたします。釜利谷中の女生徒二人と出会ってたいへん楽しく有意義な時を過ごすことができましたので、お礼と共にお知らせしたくなりました。昨（八日）日、私はいつもの様に散歩に出かけて、禅林寺（釜利谷東六丁目）から金蔵院（釜利谷東五丁目）の方向に歩いていましたが、熟知した道ではありませんでした。その近くにいた二人に「お尋ねしても良いですか」と声をかけました。快い返事をいただいて金蔵院と満蔵院に行きたい旨を伝えると「ご案内します」とのことでした。部活もないので時間は大丈夫ですとのことにお言葉に甘えて、三人でおしゃべりをしながら三時半過ぎまでそれはそれは楽しいひと時でした。最後に私は平成五年に釜利谷中に居た事と、とても楽しかったお礼と良い日だったことを伝えて彼女たちが二年生でバレー部だった事を確認して、左右に分かれて帰路につきました。ありがとうございました。

心温まるお手紙に、深く深く感謝申し上げます。また、「人との関わり」（学校教育目標です）を大切にされたバレーボール部の2人に「あっぱれ」を贈ります！

◇3月の主な予定

1日（火）	公立高校共通選抜合格発表日 専門委員会
2日（水）	生徒委員会
3日（木）	1年合唱発表会 3年横浜マリノス食育講習会
4日（金）	2年合唱発表会 3年学年お別れ会
7日（月）	3年生を送る会 3年卒業式予行
9日（水）	第36回卒業証書授与式
10日（木）	登校時間 9:20～9:35 ※式場片付けのため
15日（火）	1・2年球技大会
17日（木）	1・2年百人一首大会
18日（金）	1年職業講話
21日（月）	春分の日
24日（木）	大掃除
25日（金）	修了式
26日（土）	学年末休業（～31日 4月1日～4月6日春季休業）

※行事はコロナの感染状況によって変更・中止になることがあります。

